
SCSK、「健康経営銘柄」に7年連続で選定

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、社員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に取り組んでいる企業として経済産業省と東京証券取引所から「健康経営銘柄」に7年連続で選定されましたのでお知らせします。

なお、第1回目から7年連続で選定された企業は、回答企業2,523社のうち6社のみです。

1. 「健康経営銘柄」について

経済産業省が東京証券取引所と共同で、東京証券取引所の全上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選定し、第7回目となる2021年の健康経営銘柄には、29業種48社が選定されました。SCSKは、情報・通信業での選定となります。

「健康経営銘柄」の選定にあたっては、①経営理念・方針、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントという観点に加え、財務面でのパフォーマンスも評価されています。



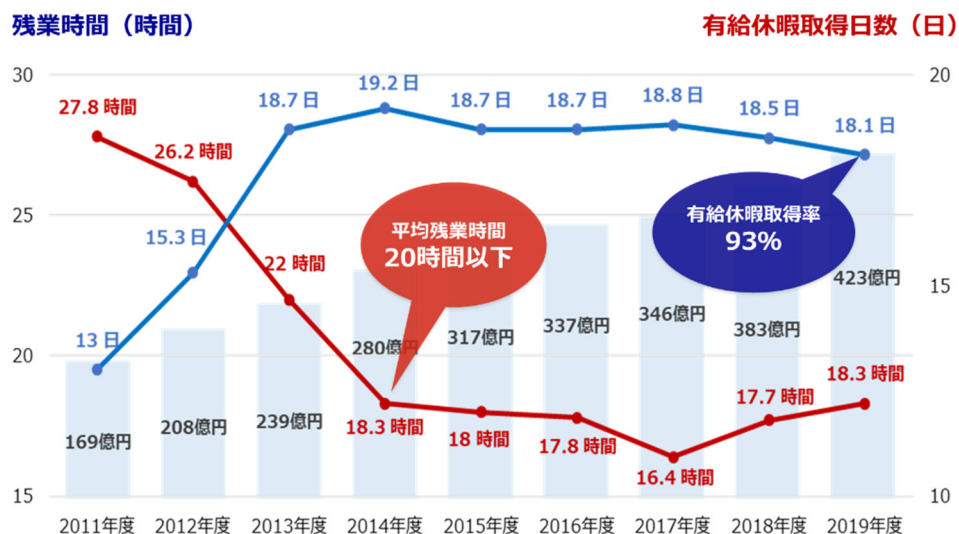
2. SCSKの取り組みと評価ポイント

SCSKは「夢ある未来を、共に創る」を経営理念とし、これを実現する約束の一つ目に「人を大切にします。」を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。そして取り組みの大前提が「社員の健康」であり、健康こそが全ての礎である旨を「健康経営の理念」として就業規則にもうたっています。

主な取り組みとしては「働き方改革」による残業削減・有給休暇取得の推進に加え、2015年からは役職員の99%が参加する、長期を見据えた総合的健康増進施策「健康わくわくマイレージ」を開始し、継続しています。その他、卒煙を希望する人へのサポートを行う「卒煙チャレンジ」や、新しい働き方における健康課題を見据えた健康リテラシー向上施策を全てオンラインセミナー形式で実施し、健康関連施策を拡充しています。

経営トップが健康経営推進最高責任者となり、多様な専門職・健康保険組合・人事部門が連携し、充実した体制のもと取り進める健康経営が評価され、7年連続の選定となりました。

【主な成果】



営業利益と残業時間・有給休暇取得日数の推移

- ・喫煙率の低下 2008年度 36% → 2020年度 15%
- ・ウォーキング実施率の向上 2014年度 34% → 2019年度 73%
- ・朝食摂取率の向上 2014年度 71% → 2020年度 84%
- ・休肝日の実施率の向上 2014年度 82% → 2020年度 87%
- ・歯科健診実施率の向上 2014年度 31% → 2020年度 76%
- ・健康診断受診率 2020年度 100%
- ・自分が健康を意識して維持していくことが、自分と家族の幸せにつながると実感している
2014年度 72% → 2020年度 93% ※
- ・心身のコンディションを整えることが、仕事と生活のより良いパフォーマンスにつながると実感している
2014年度 78% → 2020年度 94% ※

※ 社内実施のアンケートにおいて5段階回答の内、「実感している」「まあ実感している」の合算値にて算出

SCSKは、働き方改革をはじめ健康経営の理念に基づく各種の取り組みにより、健康的な行動習慣の定着と意識の変革を従業員自らが実感しています。これらの変化が一番の成果であると言えます。

今後も、健康管理と健康増進を両輪とした健康経営を推進し、情報・通信業界をはじめ、日本の産業界全体へこれらの取り組みを広めていくことで、働く人々の健康寿命の延伸を図り、日本の明るい未来づくりに貢献していきたいと考えています。

関連情報

経済産業省ニュースリリース:

<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304004/20210304004.html>

東京証券取引所ニュースリリース:

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20210304-01.html>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 後藤

TEL:03-5166-1150

※ 健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。